# 安全データシート



キット 化学品の名称 キット カタログ番号 Bio-Plex Pro Human Diabetes Adipsin and Adinopectin Assays

171A7002M

改訂日 2023-05-17

# 構成品

カタログ番号	化学品の名称
9723892, 9703892, 9704415, 10014822, 10014823	Bio-Plex Assay Buffer
171D70001, 10018258, 171D70050	Bio-Plex Pro Human Diabetes Standard
10018264, 10018265, 10018266, 10018267, 10018268, 10018269,	Bio-Plex Human Diabetes Single-Plex Beads
10018270, 10018271, 10018272, 10018273, 10018274	
10018263	Bio-Plex Pro Human Adipo Beads, 1X96
12010716	Human Diabetes, Control
10018305, 10018306, 10018307, 10018308, 10018309, 10018310,	Bio-Plex Pro Human Diabetes Single-Plex Detection
10018311, 10018312, 10018313, 10018314, 10018315, 10018316	
10022627, 12010718	Standard Diluent HB
10032400, 10031831, 12005852	Bio-Plex Detection Antibody Diluent HB
171304500, 9703893, 9704416	Bio-Plex Wash Buffer A
171304501, 9704418, 9703887, 9703897	Streptavidin-PE

KITJ / EN ページ 1/70



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-18 改訂番号 1.2

# 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Assay Buffer

カタログ番号 9723892, 9703892, 9704415, 10014822, 10014823

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

# 2. 危険有害性の要約

GHS	分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも 急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

**安全対策** ・該当しない

# 応急措置

·該当しない **保管** 

・該当しない

廃棄

該当しない

#### 他の危険有害性

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

混合物

化学名又は一般名	CAS番号		化審法インベ		安衛法インベ	安衛法番号
			ントリ		ントリ	
水	7732-18-5	50 - 100	既存	1	情報なし	
企業秘密	企業秘密	1 - 2.5	情報なし	記載されてい	情報なし	記載されてい
				る		る
企業秘密	企業秘密	0.3 - 0.99	既存	収載なし	既存	収載なし
企業秘密	企業秘密	0.1 - 0.299	既存	収載なし	既存	収載なし

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

#### 労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

# 毒物及び劇物取締法

該当しない

### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 情報なし **徴候症状** 

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

# 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

高圧水で漏出物を散乱させないこと。 使ってはならない消火剤

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

# 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

# 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

# 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液

物理状態 液体 色 無色

臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 情報なし 引火点 蒸発速度 自然発火点 分解温度 データなし 情報なし データなし データなし 情報なし

pH **粘度** 

動粘性率 データなし データなし 情報なし 動的粘度 情報なし

水への溶解度 水と 混和 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし データなし 情報なし 情報なし情報なし

データなし 密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし

粒子特性 粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

# 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

# 11. 有害性情報

# 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	<b>経口LD50</b>	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
水	> 90 mL/kg ( Rat )	_	_
	•		
企業秘密	= 3 g/kg ( Rat )	> 10000 mg/kg ( Rabbit )	> 42 mg/L (Rat) 1 h
			•
企業秘密	= 8290 mg/kg ( Rat )	> 7940 mg/kg ( Rabbit )	> 0.83 mg/L (Rat) 4 h
			•

症状 情報なし Bio-Plex Assay Buffer 改訂日 2022-10-18

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

# 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	_	LC50: 5560 - 6080mg/L (96h,	EC50: =1000mg/L (48h, Daphnia
		Lepomis macrochirus)	magna)
		LC50: =12946mg/L (96h, Lepomis	EC50: 340.7 - 469.2mg/L (48h,
		macrochirus)	Daphnia magna)
		LC50: 6020 - 7070mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: =7050mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 6420 - 6700mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 4747 - 7824mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

# 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

# 14. **輸送上の注意**

規制対象外 **IMDG** <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

# 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

# 労働安全衛生法

該当しない

# 通知対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

# 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2022-10-18 改訂日

既存情報のフォーマット変更・更新済。

### 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置 安全デー

TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

# 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

不国場場 不設力 同工性単化子物貝 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報である。

日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

世界保健機構

# <u>免責事項</u>

**元見 〒場** このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-16

改訂番号 1

# 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Pro Human Diabetes Standard

カタログ番号 171D70001, 10018258, 171D70050

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

# 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>			
世界調和シス-	テム(GHS)による	性の物質でも	混合物でもない

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

# 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

- **安全対策** ・該当しない
- 応急措置
- ·該当しない **保管**
- · 該当しない

廃棄

#### 該当しない

#### 他の危険有害性

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
酢酸	64-19-7	0.1 - 0.299	既存	(2)-688	既存	(2)-688

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

# 労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

# 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

石けん(鹸)と水で洗うこと。 皮膚に付着した場合

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 医師に連絡すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

# 5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

**消火活動を行う者の特別な保護具及び** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。

急時措置

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

**封じ込め方法** いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

**浄化方法** 汚染された表面を十分に浄化すること。

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

# 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
酢酸	TWA: 10 ppm	-	STEL: 15 ppm
64-19-7	TWA: 25 mg/m³		TWA: 10 ppm

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

<u>保護具</u>

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

**手の保護具** 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

# 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

**外観** 粉末、固体物、凍結乾燥されたもの

物理状態 固体 白色 色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 **備考 · 方法** 情報なし <u>値</u> データなし

1461 ° C / 2661.8 ° F

可燃性 データなし 情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 談当のようデータなしデータなし 蒸発速度 自然発火点 情報なし 情報なし 分解温度

рΗ 情報なし

粘度 動粘性率 データなし 情報なし

動的粘度 データなし 情報なし 水への溶解度 水に可溶 溶解度 情報なし

データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 情報なし データなし 情報なし

密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

# 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

# 11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている 27,777.80 mg/kg ATEmix(経口)

化学名又は一般名	<b>経口</b> LD50	経皮LD50	吸入 LC50
酢酸	= 3310 mg/kg ( Rat )	= 1060 mg/kg (Rabbit)	= 11.4 mg/L (Rat) 4 h

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
酢酸	_	LC50: =79mg/L (96h, Pimephales	EC50: =65mg/L (48h, Daphnia
		promelas)	magna)
		LC50: =75mg/L (96h, Lepomis	•
		macrochirus)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
酢酸	-0.17
64-19-7	

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

# 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

# 14. **輸送上の注意**

**IMDG** 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

# 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

# 労働安全衛生法

該当しない

#### 通知対象物質

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置 を講ずる必要のある腐食性液体

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

# 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

# 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-05-16 改訂日

この安全デー -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

#### 安全デ-−タシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有害性物員アーダベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

世界保健機構

### <u>免責事項</u>

であるでは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-15

改訂番号 1

# 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Human Diabetes Single-Plex Beads

カタログ番号  $10018264,\,10018265,\,10018266,\,10018267,\,10018268,\,10018269,\,10018270,\,10018271,\,10018272,\,10018273,\,10018274$ 

#### 安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 USA

Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 USA

Bio-Rad Laboratories, Life

東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

140-0002

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。 情報なし

# 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>



注意喚起語 危険有害性情報 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

# 注意書き 安全対策

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること ・環境・場合の放出を避けること

長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 応急措置

- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

·該当しない

#### 廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

#### 他の危険有害性\_\_

軽度の皮膚刺激。 動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
			ントリ		ントリ	
水酸化ナトリウム	1310-73-2	0.1 - 0.299	既存	(1)-410	既存	(1)-410
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.299	既存	(1)-482	既存	(1)-482
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと	55965-84-9	0.001 - 0.01	既存	(5)-5235,(9)-3	既存	(5)-5235,(9)-3
2-メチル3(2H)-イソチアゾールオンの混合物				78		78

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

#### 労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

# 毒物及び劇物取締法

該当しない

### 4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 掻痒感、 発疹、 じんま疹、 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれが 徴候症状 ある

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

## 5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすこと 特有の危険有害性

がある。

水噴霧でドラムを冷却すること。 特有の消火方法

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

# 6. 漏出時の措置

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出/ 、体に対する注意事項、保護具及び緊 急時措置

漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、 再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく 換気のよい場所に保管すること 。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

# 8. ばく露防止及び保護措置

# 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
水酸化ナトリウム 1310-73-2	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>	_	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>
アジ化ナトリウム 26628-22-8	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

生物学的職業性ばく 露限界値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

# 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 ビーズ懸濁液を水溶液で希釈してください

物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性\_\_\_ <u>備考 · 方法</u> <u>デー</u>タなし 情報なし 100 ° C / 212 ° F

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 高然発火点 自然発火点 分解温度 情報なし データなし 情報なし

7.4

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水への溶解度 部分混和性

データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性 データなし 該当しない 粒径 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

# 11. 有害性情報

# 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 16,616.30 mg/kg

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水酸化ナトリウム	= 325 mg/kg ( Rat )	= 1350 mg/kg ( Rabbit )	_
アジ化ナトリウム	= 27 mg/kg ( Rat )	= 20 mg/kg ( Rabbit )	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソ チアゾールオンと2-メチル 3(2H)-イソチアゾールオンの 混合物		= 87.12 mg/kg ( Rabbit )	-

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 掻痒感、 発疹、じんま疹、 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれが

ある

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく 露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。 軽度の皮膚刺激。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

# 12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
水酸化ナトリウム	_	LC50: =45.4mg/L (96h,	_
		Oncorhynchuš mykiss)	
アジ化ナトリウム	_	LC50: =0.8mg/L (96h,	_
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: $=5.46$ mg/L (96h, Pimephales	
		promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

队 刀				
化学名又は一般名	分配係数			
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル	0.7			
3(2H)−イソチアゾールオンの混合物				
55965-84-9				

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. **輸送上の注意**

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

# 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置 を講ずる必要のある腐食性液体

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

# 該当しない 労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

#### 水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の 3で定める指定物質

#### 水道法

水道法第4条、法定水質基準

# 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-05-15

改訂記録 この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

最大限界值 TWA(時間加重平均) TWA 天井値 経皮吸収 感作性物質

# 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護庁高生産単化子物員フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### 免責事項

JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 このSDSは、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 乗、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-16

改訂番号 1

# 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Pro Human Adipo Beads, 1X96

カタログ番号 10018263

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

# 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素



# 注意喚起語

<sup>富日</sup> **危険有害性情報** アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

# 注意書き

安全対策

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること

- ・環境への放出を避けること

#### 応急措置

- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

・該当しない

#### 廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

#### <u>他の危険有害性</u>

軽度の皮膚刺激。 動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
水酸化ナトリウム	1310-73-2	0.1 - 0.299	既存	(1)-410	既存	(1)-410
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.299	既存	(1)-482	既存	(1)-482
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと	55965-84-9	0.001 - 0.01	既存	(5)-5235,(9)-3	既存	(5)-5235,(9)-3
2-メチル3(2H)-イソチアゾールオンの混合物				78		78

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

#### 労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

### 毒物及び劇物取締法

該当しない

# 4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

ある

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 掻痒感、 発疹、 じんま疹、 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれが

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

# 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすこと

がある。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人

用保護具を使用すること。 予防措置

# 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定さ 急時措置 れたしなりの思して達成しること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出/

急時措置

漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

回収して適切に表示された容器に移すこと。 浄化方法

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、 再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

# 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
水酸化ナトリウム 1310-73-2	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>	-	Ceiling: 2 mg/m <sup>3</sup>
アジ化ナトリウム 26628-22-8	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

生物学的職業性ばく 露限界値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

# 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

ビーズ懸濁液を水溶液で希釈してください 外観

" 物理状態 液体 無色 色 身い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>値</u> データなし 100 ° C / 212 ° F <u>備考 · 方法</u> 情報なし

情報なし

ータなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし

データなし 分解温度 7.4 粘度

動粘性率 データなし

情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水への溶解度 部分混和性

データなし データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし データなし 情報なし 蒸気圧 情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 粒子特性 データなし 情報なし

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

情報なし 爆発性 酸化性 情報なし

# 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。フジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

# 11. 有害性情報

# 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 16,616.30 mg/kg

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水酸化ナトリウム	= 325 mg/kg (Rat)	= 1350 mg/kg ( Rabbit )	-
アジ化ナト リウム	= 27 mg/kg ( Rat )	= 20 mg/kg ( Rabbit )	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソ チアゾールオンと2-メチル 3(2H)-イソチアゾールオンの 混合物	= 53 mg/kg ( Rat )	= 87.12 mg/kg ( Rabbit )	-

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 掻痒感、 発疹、 じんま疹、 長期にわたり 接触すると 発赤及び刺激を引き起こすおそれが

ある

製品情報

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく 露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。 軽度の皮膚刺激。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、眼 特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

# 12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
水酸化ナトリウム	_	LC50: =45.4mg/L (96h,	-
		Oncorhynchus mykiss)	
アジ化ナトリウム	_	LC50: =0.8mg/L (96h,	_
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: =5.46mg/L (96h, Pimephales	
		promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成公库部

/X/J	
化学名又は一般名	分配係数
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル	0.7
──3(2H)─イソチアゾールオンの混合物	
55965-84-9	

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

# 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

i,

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

# 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> IATA 規制対象外 日本 規制対象外

### 15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質 該当しない

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置 を講ずる必要のある腐食性液体

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

#### 労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

#### 水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の 3で定める指定物質

#### 水道法

水道法第4条、法定水質基準

# 16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-05-16

改訂記録

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ い。

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

# 本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護庁高生産単化子物員フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では

ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-16

改訂番号 1

# 化学品及び会社情報

化学品の名称 Human Diabetes, Control

カタログ番号 12010716

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

# 2. 危険有害性の要約

GH	S	分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも 急性毒性(経口)	  分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
<u> </u>	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン 層への有害性	分類できない

### ラベル要素

# 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

**安全対策** ・該当しない

# 応急措置

·該当しない **保管** 

・該当しない

廃棄

改訂日 2023-05-16 Human Diabetes, Control

該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

<u>10 1 10 A 10 A 10 A 10 A 10 A 10 A 10 A</u>						
化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
酢酸	64-19-7	0.1 - 0.299	既存	(2)-688	既存	(2)-688

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

# 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

# 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

**封じ込め方法** 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

**浄化方法** 回収して適切に表示された容器に移すこと。

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

<u>保管</u>

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

# 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
酢酸	TWA: 10 ppm	-	STEL: 15 ppm
64-19-7	TWA: 25 mg/m³		TWA: 10 ppm

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

**眼及び/又は顔面の保護具** サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

# 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

**外観** 粉末、固体物、凍結乾燥されたもの

**臭い** 無臭 **臭いのしきい値** 情報なし

改訂日 2023-05-16 Human Diabetes, Control

<u>備考 · 方法</u>

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性\_\_\_\_\_ データなし データなし 一タ なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし 該当しない 引火点 蒸発速度 自然発火点 分解温度 データなし -タなし データなし データなし

рΗ

粘度

データなし 動粘性率 データなし 動的粘度 水に可溶 水への溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし データなし データなし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

データなし 粒径 粒径分布 データなし

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

# 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

# 11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 27,777.80 mg/kg

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
酢酸	= 3310 mg/kg ( Rat )	= 1060 mg/kg (Rabbit)	= 11.4 mg/L (Rat) 4 h

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 Human Diabetes, Control 改訂日 2023-05-16

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

# 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
酢酸	_	LC50: =79mg/L (96h, Pimephales	EC50: =65mg/L (48h, Daphnia
		promelas)	magna)
		LC50: =75mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性この製品のデータはない。

成分情報

%/ <b>                                      </b>				
	化学名又は一般名	分配係数		
	酢酸	-0.17		
	64-19-7			

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

改訂日 2023-05-16 Human Diabetes, Control

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置 を講ずる必要のある腐食性液体

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-05-16

改訂記録 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

い。

#### 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく <u>露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

# 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

小国体党体限力、建邦权出則、校園削、殺風削法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

Human Diabetes, Control 改訂日 2023-05-16

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedナータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

### 免責事項

**水見手場** このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-16

改訂番号 1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Pro Human Diabetes Single-Plex Detection

 $10018305,\,10018306,\,10018307,\,10018308,\,10018309,\,10018310,\,10018311,\,10018312,\,10018313,\,10018314,\,10018315,\,10018316$ カタログ番号

#### 安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>



注意喚起語

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること ・環境・場合の放出を避けること

#### 応急措置

- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

·該当しない

#### 廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.01 - 0.099	既存	(1)-482	既存	(1)-482
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと   2-メチル3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	55965-84-9	0.001 - 0.01	既存	(5)-5235,(9)-3 78	既存	(5)-5235,(9)-3 78

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

#### 労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 掻痒感、 発疹、 じんま疹

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすこと

がある。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

予防措置

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

用保護具を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定さ 急時措置 れたしなりの思して達成しること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出/

急時措置

漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

回収して適切に表示された容器に移すこと。 浄化方法

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、 再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

	化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
	アジ化ナトリウム 26628-22-8	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m <sup>3</sup> Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid
- 1				vapor

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 <u>備考 ・方法</u> <u>デー</u>タなし 100 <u>° C</u> / 212 ° F 情報なし

可燃性 データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 分解温度 情報なし -タなし 情報なし

粘度

動粘性率 データなし 情報なし 動的粘度 データなし 情報なし 水と 混和

水への溶解度 データなし 溶解度 データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

データなし 該当しない 粒径 粒径分布 データなし 該当しない

#### その他の情報

情報なし 爆発性 酸化性 情報なし

#### 10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
アジ化ナト リウム	= 27 mg/kg ( Rat )	= 20 mg/kg ( Rabbit )	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソ チアゾールオンと2-メチル 3(2H)-イソチアゾールオンの 混合物		= 87.12 mg/kg ( Rabbit )	-

略語及び頭文字

Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 掻痒感、 発疹、じんま疹

製品情報

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく 露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。 (成分に基づく)。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 誤えん有害性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
アジ化ナトリウム	_	LC50: =0.8mg/L (96h,	_
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: =5.46mg/L (96h, Pimephales	
		promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 13.036 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

/%/J   IT TK	
化学名又は一般名	分配係数
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル	0.7
3(2H)−イソチアゾールオンの混合物	
55965-84-9	

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> 規制対象外 ADR 規制対象外 <u>IATA</u> <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法 化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-05-16 改訂日

改訂記録 この安全デ -タシート には大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

# 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

# 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく 露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(未国労働女宝衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

世界保健機構

であるDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合と除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した。またはなると思うななり、または日本では、またがない。なる思うなない。 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-05-16

改訂番号 1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Standard Diluent HB カタログ番号 10022627, 12010718

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547 USA

天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

日本法人/連絡先住所

東京都品川区東品川2-2-24

140-0002

テクニカルサービス

03-6404-0331 life\_ps\_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
11 TH THE 14	11 NT - 1 1 1 1 1

	NA CC 5
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
	分類できない
	分類できない
	分類できない
	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

**安全対策** ・該当しない

## 応急措置

・該当しない

・該当しない

廃棄

Standard Diluent HB 改訂日 2023-05-16

該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0.1 - 0.299	既存	収載なし	既存	収載なし

当製品は、生殖毒性区分2に分類される成分を0.1%以上3.0%未満含有している。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法 <u>通知対象物質</u> 該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

**消火活動を行う者の特別な保護具及び** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

Standard Diluent HB 改訂日 2023-05-16

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく 露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 無色 色 臭い 無臭 情報なし 臭いのしきい値

融点/凝固点 ° C / 212 ° F 沸点、初留点及び沸騰範囲

Standard Diluent HB 改訂日 2023-05-16

**可燃性** データなし 情報なし

リスロ 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界データなし情報なし爆発又は可燃の下限界データなし情報なし引火点該当しない情報なし蒸発速度データなし情報なし自然発火点データなし情報なし分解温度データなし情報なし

pH 7.4 **粘度** 

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし

相対密度データなし情報なし蒸気濃度1相対ガス密度

情報なし粒子特性粒径ガ径データなし該当しない粒径分布データなし

該当しない 該当しない

#### その他の情報

**爆発性** 情報なし **酸化性** 情報なし

#### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

**避けるべき条件** 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	> 2000 mg/kg ( Rat )	-	-

<u>略語及び頭文字</u> Rat: ラット

症状 情報なし

**経口** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

**吸入** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

Standard Diluent HB 改訂日 2023-05-16

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
企業秘密	EC50: =1.01mg/L (72h,	LC50: 34 - 62mg/L (96h, Lepomis	EC50: =113mg/L (48h, Daphnia
	Desmodesmus subspicatus)	macrochirus)	magna)
	•	LC50: 44.2 - 76.5mg/L (96h,	•
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

#### 13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

改訂日 2023-05-16 Standard Diluent HB

#### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 日本 規制対象外

#### 15. **適用法令**

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

<u>13 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</u>		
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
企業秘密		優先評価化学物質

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

水道法

水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物 大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-05-16

改訂記録 この安全デー -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

# 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NI M CIP)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

Standard Diluent HB 改訂日 2023-05-16

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国医学図書館のPubMedナータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

<u>免責事項</u>

**水見手場** このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-05-17 改訂番号 1.2

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Detection Antibody Diluent HB

カタログ番号 10032400, 10031831, 12005852

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc.

1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない
急性毒性(経口)

急性毒性(経反)	世が調和ノスノム(GDS)による心候物有音にの物具でも成ら初でもない	
急性毒性(吸入) - ガス       区分に該当しない         急性毒性(吸入) - 蒸気       分類できない         急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト       分類できない         皮膚腐食性/刺激性       分類できない         眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性       分類できない         呼吸器感作性       分類できない         皮膚感作性       分類できない         差がん性       分類できない         生殖毒性       分類できない         授乳に対する又は授乳を介した影響       授乳に対する又は授乳を介した影響はない         特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)	急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気		
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト分類できない皮膚腐食性/刺激性分類できない眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性分類できない呼吸器感作性分類できない皮膚感作性分類できない発がん性分類できない発がん性分類できない生殖毒性分類できない授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類できない特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類できない水生環境有害性短期(急性)水生環境有害性短期(急性)水生環境有害性長期(慢性)		
皮膚腐食性/刺激性       分類できない         眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性       分類できない         呼吸器感作性       分類できない         皮膚感作性       分類できない         生殖細胞変異原性       分類できない         発がん性       分類できない         投乳に対する又は授乳を介した影響       授乳に対する又は授乳を介した影響はない         特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         誤えん有害性       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)		分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響は 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 対策できない		分類できない
呼吸器感作性       分類できない         皮膚感作性       分類できない         生殖細胞変異原性       分類できない         発がん性       分類できない         生殖毒性       分類できない         授乳に対する又は授乳を介した影響       授乳に対する又は授乳を介した影響はない         特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)	皮膚腐食性/刺激性	
呼吸器感作性       分類できない         皮膚感作性       分類できない         生殖細胞変異原性       分類できない         発がん性       分類できない         生殖毒性       分類できない         授乳に対する又は授乳を介した影響       授乳に対する又は授乳を介した影響はない         特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
生殖細胞変異原性       分類できない         発がん性       分類できない         生殖毒性       分類できない         授乳に対する又は授乳を介した影響       授乳に対する又は授乳を介した影響はない         特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         設えん有害性       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)	呼吸器感作性	分類できない
発がん性分類できない生殖毒性分類できない授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類できない特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類できない誤えん有害性分類できない水生環境有害性短期(急性)水生環境有害性長期(慢性)		分類できない
生殖毒性分類できない授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類できない特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類できない誤えん有害性分類できない水生環境有害性短期(急性)水生環境有害性長期(慢性)		分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)     分類できない       特定標的臓器毒性(反復ばく露)     分類できない       誤えん有害性     分類できない       水生環境有害性     短期(急性)       水生環境有害性     長期(慢性)		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)       分類できない         特定標的臓器毒性(反復ばく露)       分類できない         誤えん有害性       分類できない         水生環境有害性       短期(急性)         水生環境有害性       長期(慢性)	授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 分類できない 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない		
誤えん有害性		
水生環境有害性 短期(急性) 分類できない 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない		
水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない		
<u>水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない </u>	水生環境有害性 短期(急性)	
オゾン層への有害性 分類できない	水生環境有害性 長期(慢性)	
	オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

- **安全対策** ・該当しない
- 応急措置 ·該当しない **保管**

## 廃棄

・該当しない

#### 該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0.01 - 0.099	既存	収載なし	既存	収載なし

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

**封じ込め方法** 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

**浄化方法** 回収して適切に表示された容器に移すこと。

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

<u>保管</u>

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色無色臭い無臭

臭いのしきい値 情報なし

<u>短性</u> 融点**、凝固点** データなし ボータなし 100 °C / 212 °F

データなし T**帙限界**  **備考 · 方法** 情報なし

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし 爆発又は可燃の上限界 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 情報なし 自然発火点 分解温度 タなし 情報なし 7.4

粘度 データなし 動粘性率 データなし 動的粘度 水への溶解度 水と 混和

データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし

密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 相対ガス密度 粒子特性 データなし 粒径 データなし

該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

#### 10: 安定性及び反応性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	<b>経口LD50</b>	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
企業秘密	= 37000 mg/kg ( Rat )	-	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 **日本** 規制対象外

#### 15. **適用法令**

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

該当しない

#### 通知対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

$\mathcal{K} = \mathcal{K} \cup \mathcal{K} \cup \mathcal{K}$				
化学名又は一般名	CAS番号	化審法		
企業秘密		優先評価化学物質		

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-05-17

改訂記録

既存情報のフォーマット変更・更新済。

# **安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例** <u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 天

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

# 本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EFA (不) 環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄険有害性物質ケータベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedテータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合がなりませた。 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-05-17 改訂番号 1.1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Wash Buffer A

カタログ番号 171304500, 9703893, 9704416

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS <b>万知</b>		
世界調和システ	ム(GHS)による危険物有害性の特	物質でも 退合物でも たい
世外訓仰ノヘノ	ム(はロシルーよる)心候物作音はいれ	勿貝じひ 此口 彻じひない

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き

## **安全対策** ・該当しない 応急措置

·該当しない **保管** 

・該当しない

廃棄

Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

該当しない

#### 他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0.01 - 0.099	既存	収載なし	既存	収載なし

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 融点/凝固点

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 初留点及び沸騰範囲 ータなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

情報なし 情報なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 7.4 nΗ

粘度

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし

**水への溶解度** 水と混和 溶解度 データなし n ー**オクタノール/水分配係数(log値)** データなし 蒸気圧 データなし

密度及び/又は相対密度データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし粒子特性

**粒径** データなし 該当しない **粒径分布** データなし 該当しない

その他の情報

**爆発性** 情報なし **酸化性** 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

 化学的安定性
 通常の条件下で安定。

 危険有害反応可能性
 通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

**静電放電に対する感度** なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	= 37000 mg/kg ( Rat )	-	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h

症状情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 日本
 規制対象外

改訂日 2023-05-17 Bio-Plex Wash Buffer A

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

### 労働安全衛生法

該当しない

#### 通知対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

成当しなv·				
化学名又は一般名	CAS番号	化審法		
企業秘密		優先評価化学物質		

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 改訂日 2023-05-17

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例項目8: ばく露防止及び保護措置TWATWA(中間加重平均)天 天井値 最大限界值 感作性物質 経皮吸収

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有害性物員データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedテータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### 免責事項

JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。 このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 このSDSは、 にの3D3は、313 と 7232.2019及び313 と 7233.2019の安保に単純している。この3D3に記載されている内容は、発打口時点の知光、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-05-17 改訂番号 1.2

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Streptavidin-PE

カタログ番号 171304501, 9704418, 9703887, 9703897

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 USA

日本法人/連絡先住所 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

テクニカルサービス

03-6404-0331

緊急連絡電話番号

∩⊔c **八粨** 

life\_ps\_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

### 2. 危険有害性の要約

<b>L</b>
分類できない
分類できない
区分に該当しない
分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響は
ない
分類できない

#### ラベル要素

### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

## 注意書き

- **安全対策** ・該当しない
- 応急措置
- ·該当しない **保管**
- ・該当しない

JGHS / EN ページ 65 / 70

改訂日 2023-05-17 Streptavidin-PE

廃棄

・該当しない

他の危険有害性

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

改訂日 2023-05-17 Streptavidin-PE

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 融点/凝固点

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 初留点及び沸騰範囲 ータなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし

改訂日 2023-05-17 Streptavidin-PE

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし

情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし nΗ

7.4

粘度 動粘性率 データなし 動的粘度 データなし

水への溶解度 水と 混和 データなしデータなし 溶解度

n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし

密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

#### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 Streptavidin-PE **改訂日** 2023-05-17

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.02 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

#### 13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 **日本** 規制対象外

#### 15. **適用法令**

Streptavidin-PE 改訂日 2023-05-17

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-05-17

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值

経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

#### <u>免責事項</u>

元のSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり